

広島県災害対策本部員会議知事コメント

(令和3年8月13日)

- 現在、広島市に大雨特別警報が発表されています。
大雨特別警報は、重大な危険が差し迫った異常な状況にあるときに発表されるものです。
- また、氾濫危険水位を越えた、広島市安佐北区の鈴張川流域、北広島町の冠川流域、安芸高田市の多治比川流域においては、警戒レベル5の緊急安全確保が発令されています。
- また、すでに鈴張川、冠川では越水しているという情報も入っています。
確認中ではありますが、危険な状況になっています。
- さらに、広島市、呉市、三次市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、北広島町には土砂災害警戒情報が発表されています。
これらの市町においては、警戒レベル4の避難指示が発令されています。
- 今後の気象状況によっては、県内の他の市町にも避難情報等の発令地域が拡大される可能性があります。
- 先日の台風9号は、本県に平年8月の2倍以上の雨量をもたらしました。
また、水曜日からの降水量は、200ミリを超えており、この5日間で、多いところでは400ミリに達した地域もあり、3年前の西日本豪雨の時の降水量に近づいています。
- さらに、これからの24時間で150ミリ程度、その後も1日に100ミリから200ミリ程度の雨が降り続く予報となっています。
- 命に危険を及ぼす災害がいつ発生してもおかしくない、大変危険な状況にあります。
鈴張川、冠川、多治比川流域の浸水想定区域にお住まいの方で、まだ避難が可能な方は、直ちに避難してください。
既に、避難が危険な状態にある方は、二階、あるいは川や崖から離れた安全な場所に移動し、身の安全を確保して下さい。
- 避難指示等が発令された市町で、土砂災害警戒区域や浸水の恐れのある地域にお住まいの方は、安全な場所にある知人や親戚の家、市町が開設する避難所などに躊躇なく避難をお願いします。
- 前線の影響による雨は、強くなったり弱くなったりを断続的に繰り返します。
また、県内のどの地域で強い雨をもたらすかなど、気象状況は常に変化します。
現在、お住まいの地域に避難情報が出ていない方も、いつも以上に、最新の気象情報に注意、確認していただき、市町からの避難情報等が発令された場合は、直ちに適切な避難行動がとれるよう準備をしてください。
- 西日本豪雨災害では、避難行動の遅れから、被災された方が多くおられます。
被災された方は、皆さん「自分がこんなことになるとは思わなかった」、「これは初めての経験だ」、「何十年住んでいるがこんなことはこれまでなかった」と言われています。
災害において、これまでの経験は役に立たないどころか、これまで災害がなかったという経験が逆に足を引っ張ります。
あなたや大切な方の命を守るため、速やかに行動を開始してください。
あの時の大変つらい思いを繰り返さないでください。
- 繰り返しになりますが、西日本豪雨と同様の危険な気象状況となっています。
命に危険を及ぼす災害がいつどこで起きてもおかしくありません。
避難情報が発令されている地域にお住まいの方で、まだ危険な地域にとどまっている方がおられましたら、直ちに避難を開始してください。
避難情報がまだ発令されていない地域の方は、市町からの避難情報が発令された場合に、速やかに避難できるよう万全の準備を整えておいてください。